

試 験 結 果 報 告 書



長崎県認定リサイクル製品 認定番号：A1100005号

調 査 件 名 : 令和7年度 社内管理試験

試 験 内 容 : 室内土質試験

材 料 名 : 再生土砂(CO=100)

試 験 日 : 令和7年 4月



西 海 砕 石 株 式 会 社



本 社 〒851-1133 長崎市小江町1706番地1

TEL (095) 844-5853 FAX (095) 844-5815

工場・試験室 〒851-1133 長崎市小江町1669番地

TEL (095) 844-6956 FAX (095) 844-7237

室内土質試験結果一覧

物 理 試 験	土粒子の密度 ρ_s (g/cm ³)		2.67
	粒 度	最 大 粒 径 (mm)	53
		礫 分 (2~75mm) (%)	70
		砂 分 (0.075~2mm) (%)	27
		細粒分 (0.075mm未満) (%)	3
		地盤材料の工学的分類(小分類) 「JGS 0051」(日本統一分類法)	砂質礫 (GS)
	液 性 限 界 W_L (%)		NP
	塑 性 限 界 W_P (%)		NP
	塑 性 指 数 I_P (%)		NP
力 学 試 験	最 適 含 水 比 W_{opt} (%)		12.5
	最大乾燥密度 $\rho_{d_{max}}$ (g/cm ³)		1.75
	C B R 値 (5.0mm貫入) (%)		258.28
	粘着力 C_d (kN/m ²)		90.60
	内部摩擦角 ϕ_d (°)		43.2
溶 出 試 験	有害物溶出量 計量試験		巻末の計量証明書参照

JIS A 1202	土 粒 子 の 密 度 試 験	
------------	-----------------	--

調査件名： 令和7年度 社内管理試験 試験年月日 令和7年4月16日
 試験者 三田 真一

試料番号（深さ）		再生土砂(CO=100)					
ピクノメーターNo,		34	35	36			
ピクノメーターの質量 mf g		49.522	48.481	47.839			
(蒸留水+ピクノメーター)質量 m'a g		158.665	157.496	156.599			
m'aを図ったときの蒸留水の温度 T' °C		17	17	17			
T'°Cにおける蒸留水の密度 ρw(T') g/cm3		0.9988	0.9988	0.9988			
(試料+蒸留水+ピクノメーター)の質量 mb g		184.16	184.19	183.75			
mbをはかったときの内容物の温度 T °C		13	13	13			
T°Cにおける蒸留水の密度 ρw(T) g/cm3		0.9994	0.9994	0.9994			
温度T° Cの蒸留水を満たしたときの (蒸留水+ピクノメーター)質量 ma g		158.73	157.56	156.66			
試料の 炉乾燥質量	容器 NO.	34	35	36			
	(炉乾燥試料+容器)質量 g	90.23	91.03	91.18			
	容器質量 g	49.52	48.48	47.84			
	ms g	40.71	42.55	43.34			
土粒子の密度 ρs g/cm3		2.66	2.67	2.67			
平均値 ρs g/cm3		2.67					

試料番号（深さ）							
ピクノメーターNo,							
ピクノメーターの質量 mf g							
(蒸留水+ピクノメーター)質量 m'a g							
m'aを図ったときの蒸留水の温度 T' °C							
T'°Cにおける蒸留水の密度 ρw(T') g/cm3							
(試料+蒸留水+ピクノメーター)の質量 mb g							
mbをはかったときの内容物の温度 T °C							
T°Cにおける蒸留水の密度 ρw(T) g/cm3							
温度T° Cの蒸留水を満たしたときの (蒸留水+ピクノメーター)質量 ma g							
試料の 炉乾燥質量	容器 NO.						
	(炉乾燥試料+容器)質量 g						
	容器質量 g						
	ms g						
土粒子の密度 ρs g/cm3							
平均値 ρs g/cm3							

備考

整理番号 No. 2450364

試験結果報告書

依頼者 西海碎石（株）

工事名 品質管理（再生土砂） C=100

試料産地 長崎県

《 内 容 概 説 》

土の粒度試験（ふるい分け） 1 件

令和6年9月11日

公益財団法人 長崎県建設技術研究センター

理事長 有 吉 正



調査件名 西海砕石（株）
品質管理（再生土砂）C=100

試験年月日 2024 年 09 月 04 日

試料番号(深さ) ***

試験者 佐藤 磨 美

全 試 料					2 mmふるい通過試料（沈降分析を行わない場合）				
含 水 比	容 器 No.	518	519	520	含 水 比	容 器 No.	1	2	3
	m_a g	1790.9	1811.4	1814.1		m_a g	313.2	327.9	323.3
	m_b g	1712.1	1728.1	1729.9		m_b g	297.8	311.3	307.5
	m_c g	362.2	357.6	369.2		m_c g	95.6	96.7	96.3
	w %	5.8	6.1	6.2		w_1 %	7.6	7.7	7.5
平均値 w %		6.0			平均値 w_1 %		7.6		
（全試料＋容器）質量				g	（2 mmふるい通過試料＋容器）質量				g
容 器（No. 101）質 量				g	容 器（No. 801）質 量				g
全 試 料 質 量 m				g	2 mmふるい通過試料の質量 m_1				g
全試料の炉乾燥質量 $m_s = \frac{m}{1 + w/100}$				g	2 mmふるい通過試料の炉乾燥質量 $m_{1s} = \frac{m_1}{1 + w_1/100}$				g
2 mmふるい残留分 の水洗い後の試料	（試料＋容器）質量		g	21952.6	全試料の炉乾燥質量に対する 2 mmふるい通過試料の炉乾燥質量比 $\frac{m_s - m_{1s}}{m_s}$				0.30782
	容器（No. 102）質 量		g	2362.6					
	炉 乾 燥 質 量 m_{0s}		g	19590.0					

2 mmふるい残留分 m_{0s} のふるい分析							
ふるい	容器No.	(残留試料+容器)質量	容器質量	残留試料質量	加積残留試料質量	加積残留率 $\frac{\sum m(d)}{m_s} \times 100$	通過質量百分率 $P(d)$ $(1 - \frac{\sum m(d)}{m_s}) \times 100$
mm		g	g	g	g	%	%
75							
53		0.0					100.0
37.5		318.6		318.6	318.6	1.1	98.9
26.5		1782.4		1782.4	2101.0	7.4	92.6
19		3161.2		3161.2	5262.2	18.6	81.4
9.5		7799.8		7799.8	13062.0	46.2	53.8
4.75		4270.0		4270.0	17332.0	61.2	38.8
2		2258.0		2258.0	19590.0	69.2	30.8

2 mmふるい通過分 m_{1s} のふるい分析(沈降分析を行わない場合)								
ふるい	容器No.	(通過試料+容器)質量	容器質量	残留試料質量	加積残留試料質量	加積残留率 $\frac{\sum m(d)}{m_{1s}} \times 100$	加積通過率 P $(1 - \frac{\sum m(d)}{m_{1s}}) \times 100$	通過質量百分率 $P(d)$ $\frac{m_s - m_{0s}}{m_s} \times P$
μm		g	g	g	g	%	%	%
850		35.7		35.7	35.7	32.0	68.0	20.9
425		30.4		30.4	66.1	59.3	40.7	12.5
250		19.1		19.1	85.2	76.4	23.6	7.3
106		15.3		15.3	100.5	90.1	9.9	3.0
75		2.0		2.0	102.5	91.9	8.1	2.5

特記事項

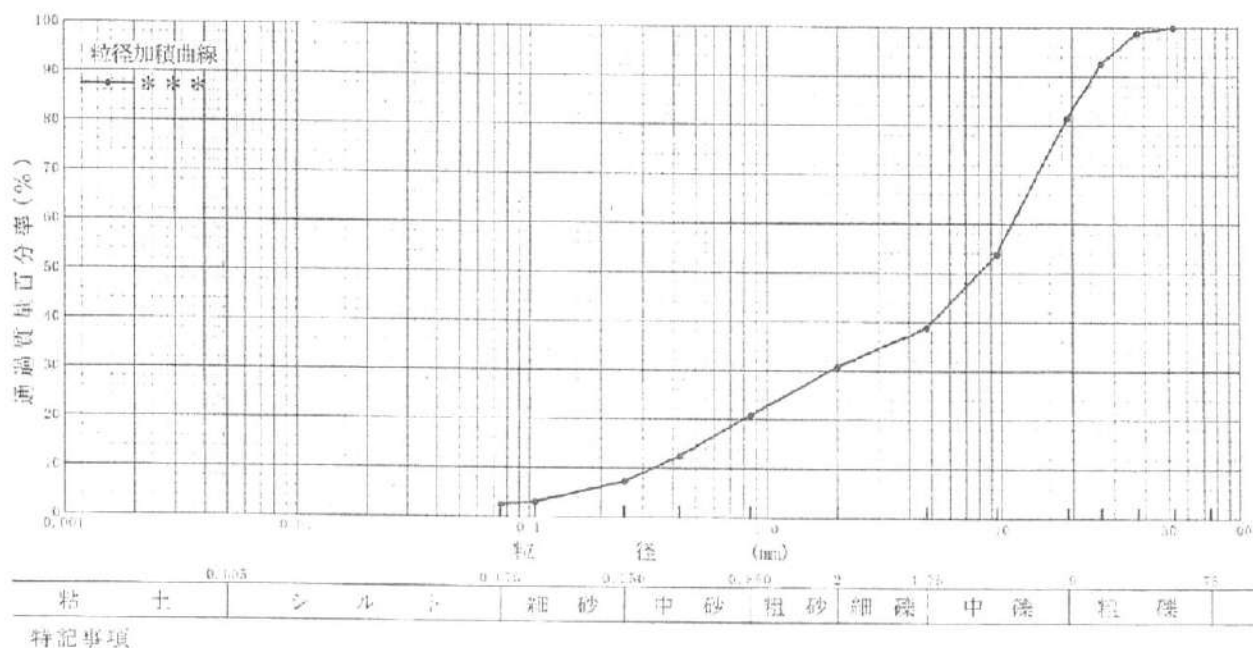
土の粒度試験 (粒径加積曲線)

調査件名 西海砕石 (株)
品質管理 (再生土砂) C=100

試験年月日 2024 年 09 月 04 日

試 験 者 佐 藤 磨 美

試料番号 (深さ)	***				試料番号 (深さ)				***	
ふるい 分析	粒 径 mm	通過質量百分率 %	粒 径 mm	通過質量百分率 %	粗 塵 分 %				19	
	75		75		中 塵 分 %				43	
	53	100.0	53		細 塵 分 %				8	
	37.5	98.9	37.5		粗 砂 分 %				10	
	26.5	92.6	26.5		中 砂 分 %				12	
	19	81.4	19		細 砂 分 %				5	
	9.5	53.8	9.5		シ ル ト 分 %			}	3	
	4.75	38.8	4.75		粘 土 分 %					
	2	30.8	2		2mmふるい通過質量百分率 %				31	
	0.85	20.9	0.85		425 μ mふるい通過質量百分率 %				13	
	0.425	12.5	0.425		75 μ mふるい通過質量百分率 %				3	
	0.250	7.3	0.250		最 大 粒 径 mm				53	
	0.106	3.0	0.106		60 % 粒 径 D_{60} mm				11.1	
0.075	2.5	0.075		50 % 粒 径 D_{50} mm				7.97		
沈 降 分 析					30 % 粒 径 D_{30} mm				1.87	
					10 % 粒 径 D_{10} mm				0.329	
					均 等 係 数 U_r				34	
					曲 率 係 数 U'_r				0.96	
					土 粒 子 の 密 度 ρ_r Mg/m					
					使用した分散剤					
					溶液濃度, 溶液添加量					



JGS 0051	地盤材料の工学的分類	
----------	------------	--

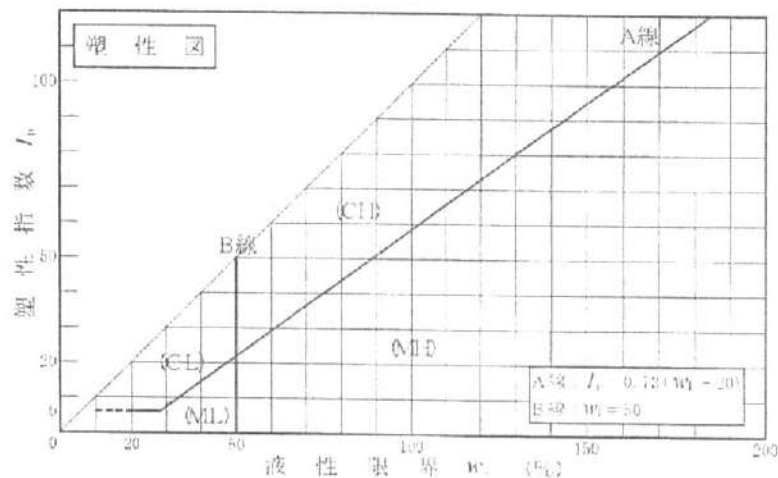
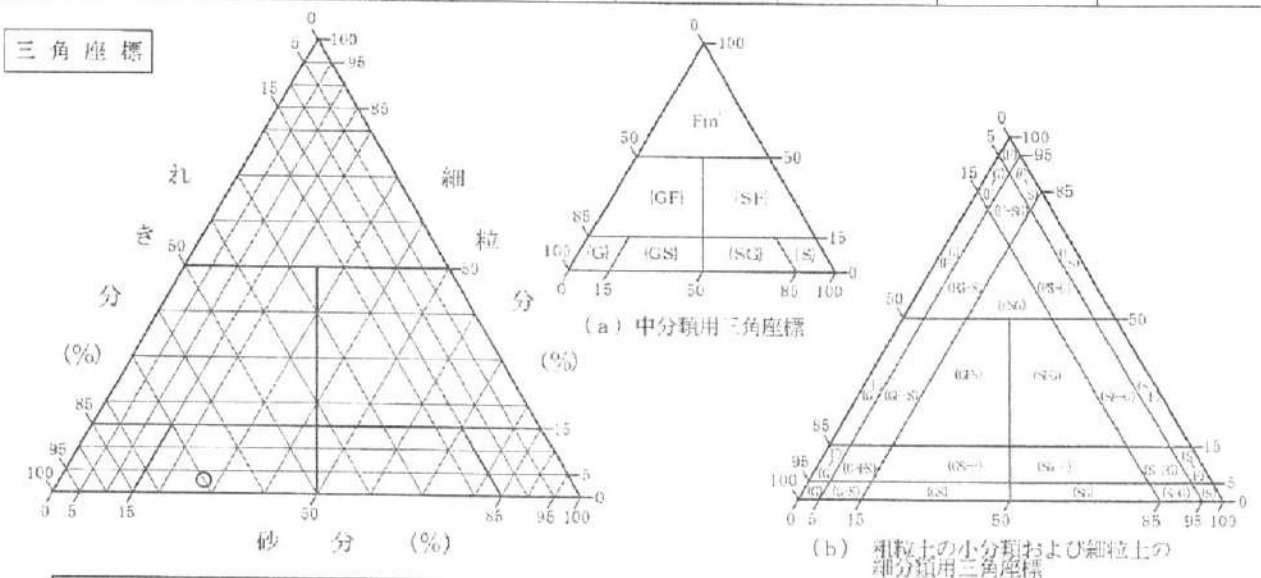
調査件名 西海砕石(株)
品質管理(再生土砂) C=100

試験年月日 2024 年 09 月 04 日

試験者 佐藤 磨美

試料番号 (深さ)	***				
石分(75mm以上) %					
れき分(2~75mm) %	70				
砂分(0.075~2mm) %	27				
細粒分(0.075mm未満) %	3				
シルト分(0.005~0.075mm) %	3				
粘土分(0.005mm未満) %	0				
最大粒径 mm	53				
均等係数 U_c	34				
液性限界 w_L %	***				
塑性限界 w_P %	***				
塑性指数 I_p	***				
地盤材料の分類名	砂質礫				
分類記号	(GS)				
凡例記号	○				

三角座標



特記事項 1) 主に観察と塑性図で判別分類

JIS A 1205	土の液性限界・塑性限界試験(測定)	
------------	-------------------	--

調査件名 令和7年度 社内管理試験 試験年月日 令和7年4月17日

試験者 三田 真一



試料番号(深さ) 再生土砂(CO=100)

液性限界試験

落下回数

容器 No.

ma g

mb g

mc g

w

落下回数

容器 No.

ma g

mb g

mc g

w

塑性限界試験

容器 No.

ma g

mb g

mc g

w

液性限界 W_L % 塑性限界 W_P % 塑性指数 I_P

N.P N.P N.P

試料番号(深さ)

液性限界試験

落下回数

容器 No.

ma g

mb g

mc g

w

落下回数

容器 No.

ma g

mb g

mc g

w

塑性限界試験

容器 No.

ma g

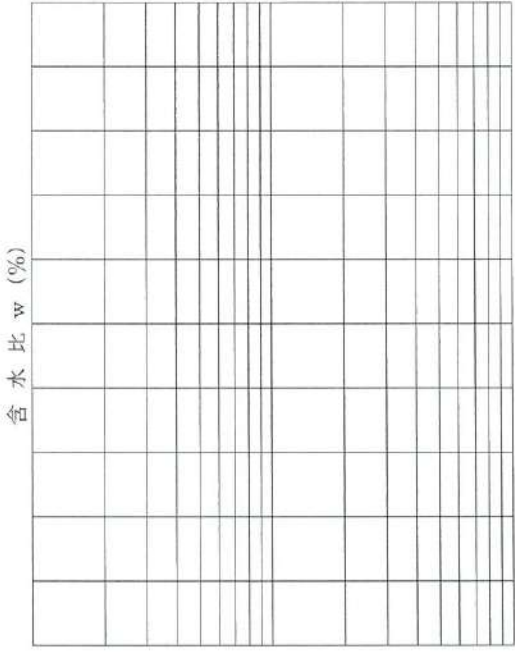
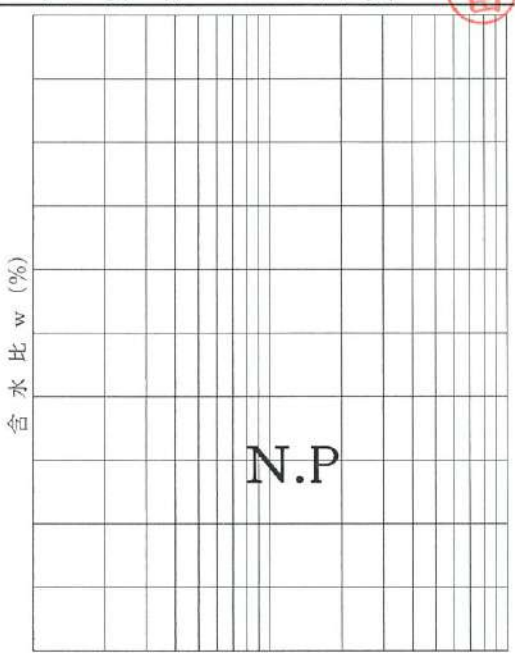
mb g

mc g

w

液性限界 W_L % 塑性限界 W_P % 塑性指数 I_P

特記事項



JIS A 1210	突 固 め に よ る 土 の 締 固 め 試 験 (測 定)	
------------	---------------------------------	--

件 名 : 令和7年度 社内管理試験 試験日 令和7年4月16日

試料番号 : 再生土砂(CO=100) 試験者 三田 真一

試 験 方 法		B-b	土 質 名 称	砂質礫(GS)			
試 料 の 準 備 方 法		乾 燥 法	ランマ-質量 kg	2.5	モ ー ル ド	内 径 mm	150
試 料 の 使 用 方 法		非繰返し法	落 下 高 さ mm	300		高 さ mm	125
含水比	試料分取後 Wo %		突固め回数 回/層	55		容 量 V cm ³	2209
	乾燥処理後 W1 %	2.8	突固め層数 層	3			質 量 g
測 定 No,		1	2		3		4
(試料+モールド)質量 g		8484	8638		8782		8930
湿 潤 密 度 ρt g/cm ³		1.74	1.81		1.88		1.94
平均含水比 W %		2.8	5.8		8.4		11.2
乾 燥 密 度 ρd g/cm ³		1.69	1.71		1.73		1.75
含 水 比	容 器 NO.	60	61		62		63
	ma g	3130.4	3128.3		3119.7		3129.1
	mb g	3062.3	2987.6		2925.9		2875.0
	mc g	614.4	581.1		615.6		607.2
	W %	2.8	5.8		8.4		11.2
	容 器 NO.						
	ma g						
	mb g						
	mc g						
	W %						

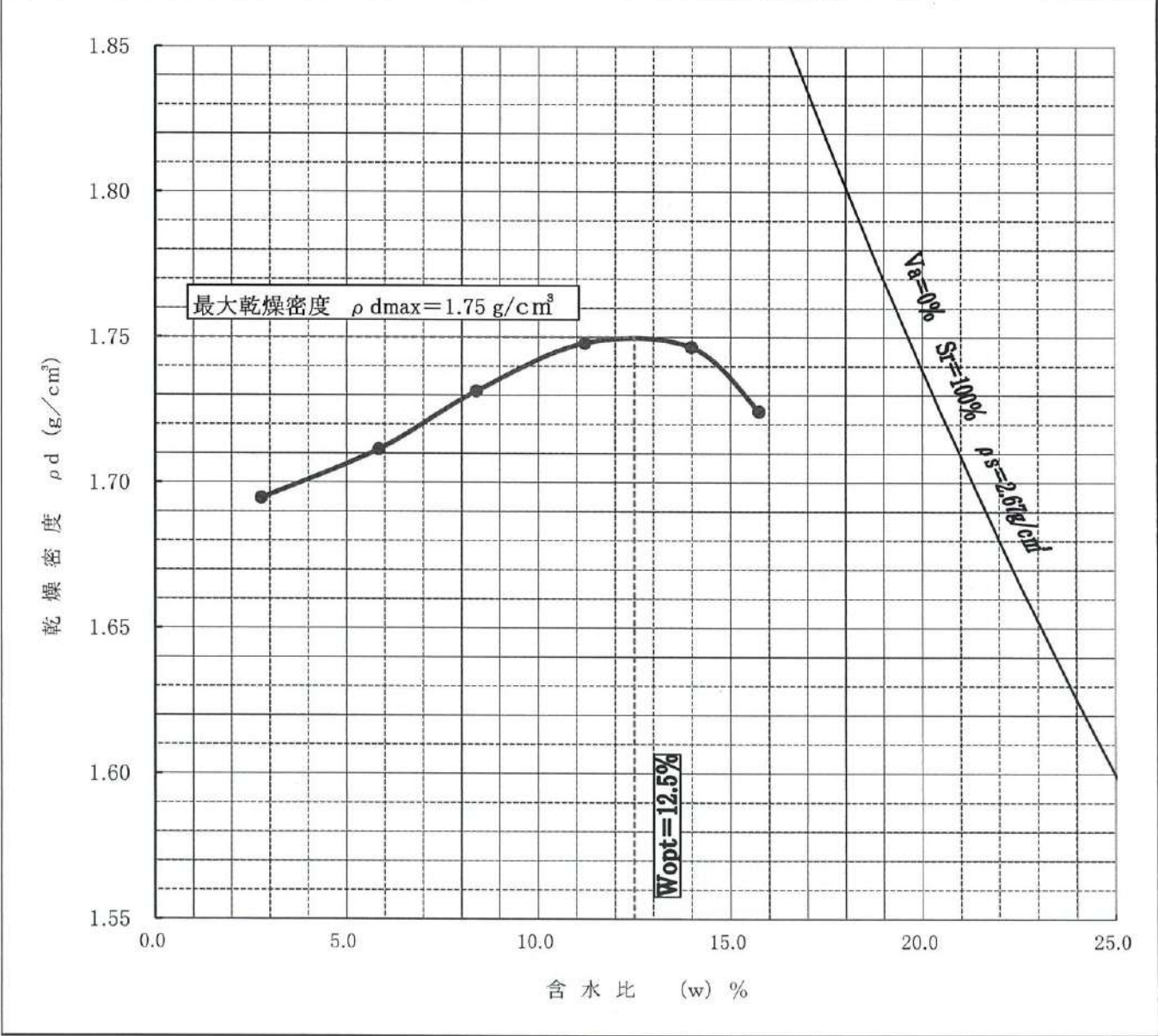
測 定 No,		5	6			
(試料+モールド)質量 g		9034	9045			
湿潤密度 ρ_t g/cm ³		1.99	2.00			
平均含水比 W %		14.0	15.7			
乾燥密度 ρ_d g/cm ³		1.75	1.72			
含 水 比	容 器 NO.	64	65			
	ma g	3130.3	3168.4			
	mb g	2821.4	2820.9			
	mc g	612.5	613.3			
	W %	14.0	15.7			
	容 器 NO.					
	ma g					
	mb g					
	mc g					
	W %					

JIS A 1210	突固めによる土の締固め試験 (締固め特性)
------------	-----------------------

件 名 : 令和7年度 社内管理試験 試験日 令和7年4月16日

試料番号 : 再生土砂(CO=100) 試験者 三田 真一

試験方法	B-b	土質名称	砂質礫(GS)					
試料の準備方法	乾燥法	ランマー質量 kg	2.5	土粒子の密度 ρ_s g/cm ³	2.67			
試料の使用法	非繰返し法	落下高さ mm	300	試料調整前の最大粒径mm				
含水比	試料分取後W ₀ %	突固め回数 回/層	55	モールド	内径 mm	150		
	乾燥処理後W ₁ %	突固め層数 層	3		高さ mm	125		
測定 NO.	1	2	3	4	5	6	7	8
平均含水比 W %	2.8	5.8	8.4	11.2	14.0	15.7		
乾燥密度 ρ_d g/cm ³	1.69	1.71	1.73	1.75	1.75	1.72		
					最大乾燥密度 ρ_{dmax} g/cm ³	1.75		
乾燥密度-含水比曲線					最適含水比 W _{opt} %	12.5		



JIS A 1211	C B R 試 験 (初期状態、吸水膨張試験)	
------------	-------------------------	--

調 査 件 名 令和7年度 社内管理試験 試験年月日 令和7年4月14日

試料番号 (深さ) 再生土砂(CO=100) 試 験 者 三田 真一

試 験 方 法		締固めた土	ランマー質量 kg		4.5	土 質 名 称		砂質礫(GS)
突 固 め 方 法			落 下 高 さ mm		450	自然含水比 w_n %		
試 料 準 備	準備方法	非乾燥法	突 固 め 回 数 回/層		67	最適含水比 w_{opt} %		12.5
	空気乾燥前含水比 %		突 固 め 層 数 層		3	最大乾燥密度 ρ_{dmax} g/cm ³		1.75
	試料調整後含水比 w_o %		モールド	内 径 mm	150	荷重板質量 kg		5.0
				高 さ mm	125	モールド容量 V cm ³		2209
供 試 体 No.			1		2		3	
含 水 比	容 器 NO.	60	61		62			
	ma g	3311.8	3247.7		3253.3			
	mb g	3018.9	2962.7		2976.9			
	mc g	614.4	581.1		615.6			
	W %	12.2	12.0		11.7			
	平 均 値 w_i %	12.2	12.0		11.7			
密 度	(試料+モールド)質量 m_2 g	12681	12615		12654			
	モールド質量 m_1 g	8095	8121		8134			
	湿 潤 密 度 ρ_t g/cm ³	2.08	2.03		2.05			
	乾 燥 密 度 ρ_d g/cm ³	1.85	1.82		1.83			
吸 水 膨 張 試 験	水深時間 h	時刻	変位計の読み	膨張量 mm	変位計の読み	膨張量 mm	変位計の読み	膨張量 mm
	0		0	0	0	0	0	0
	1		0	0.00	0	0.00	0	0.00
	2		0	0.00	0	0.00	0	0.00
	4		0	0.00	0	0.00	0	0.00
	8		0	0.00	0	0.00	0	0.00
	24		0	0.00	0	0.00	1	0.01
	48		0	0.00	0	0.00	1	0.01
	72		0	0.00	0	0.00	1	0.01
	96		0	0.00	0	0.00	1	0.01
	(試料+モールド)質量 m_3 g	12798	12738		12765			
	膨 張 比 re %	0.00	0.00		0.01			
	湿 潤 密 度 ρ^*_t g/cm ³	2.13	2.09		2.10			
	乾 燥 密 度 ρ^*_d g/cm ³	1.85	1.82		1.83			
	平均含水比 w^* %	15.1	15.0		14.5			

特記事項

JIS A 1211	C B R 試験 (貫入試験)	
------------	-----------------	--

調査件名 令和7年度 社内管理試験 試験年月日 令和7年4月18日

試料番号(深さ) 再生土砂(CO=100) 試験者 三田 真一

試 験 条 件			水 浸		貫入速さ mm/min			1		荷重板質量 kg			5.0		
養 生 条 件			日 養 生		荷 重 計 No.			5832		較正係数 kN/目盛			0.3543		
			4 日 水 浸		容 量 kN			100							
供 試 体 No, 1					供 試 体 No, 2					供 試 体 No, 3					
貫 入 量 mm			荷 重		貫 入 量 mm			荷 重		貫 入 量 mm			荷 重		
読 み		平 均	荷重計 の読み	kN	読 み		平 均	荷重計 の読み	kN	読 み		平 均	荷重計 の読み	kN	
1	2				1	2				1	2				
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
0.5	0.5	0.5	12	4.25	0.5	0.5	0.5	17	6.02	0.5	0.5	0.5	16	5.67	
1.0	1.0	1.0	29	10.27	1.0	1.0	1.0	38	13.46	1.0	1.0	1.0	37	13.11	
1.5	1.5	1.5	49	17.36	1.5	1.5	1.5	58	20.55	1.5	1.5	1.5	56	19.84	
2.0	2.0	2.0	70	24.80	2.0	2.0	2.0	74	26.22	2.0	2.0	2.0	72	25.51	
2.5	2.5	2.5	88	31.18	2.5	2.5	2.5	87	30.82	2.5	2.5	2.5	87	30.82	
3.0	3.0	3.0	105	37.20	3.0	3.0	3.0	95	33.66	3.0	3.0	3.0	101	35.78	
4.0	4.0	4.0	134	47.48	4.0	4.0	4.0	114	40.39	4.0	4.0	4.0	125	44.29	
5.0	5.0	5.0	162	57.40	5.0	5.0	5.0	129	45.70	5.0	5.0	5.0	144	51.02	
7.5	7.5	7.5	209	74.05	7.5	7.5	7.5	154	54.56	7.5	7.5	7.5	177	62.71	
10.0	10.0	10.0	257	91.06	10.0	10.0	10.0	176	62.36	10.0	10.0	10.0	201	71.21	
12.5	12.5	12.5			12.5	12.5	12.5	197	69.80	12.5	12.5	12.5	226	80.07	
貫入試験後の 含水比	容器No.	66			貫入試験後の 含水比	容器No.	67			貫入試験後の 含水比	容器No.	62			
	ma	3072.1				ma	3061.2				ma	2915.9			
	mb	2784.0				mb	2748.6				mb	2609.0			
	mc	601.3				mc	620.1				mc	615.6			
	w ₂ %	13.2				w ₂ %	14.7				w ₂ %	15.4			
	平均値 w ₂					平均値 w ₂					平均値 w ₂				

特記事項

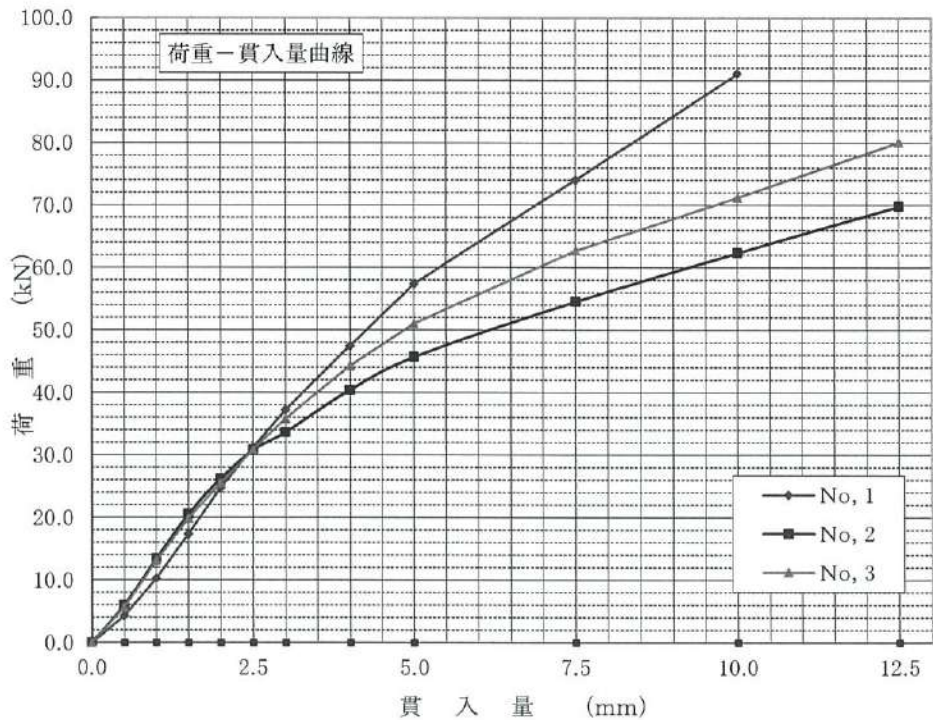
JIS A 1211	C B R 試 験 (室 内 試 験 結 果)	
------------	---------------------------	--

調 査 件 名 令和7年度 社内管理試験 試験年月日 令和7年4月18日

試料番号 (深さ) 再生土砂(CO=100) 試 験 者 三田 真一

試 験 方 法	締固めた土	ランマー 質量 kg	4.5	土 質 名 称	砂質礫(GS)
突固め方法		落 下 高 さ mm	450	空気乾燥前含水比 %	
試料の準備方法		突固め回数 回/層	67	自然含水比 w_n %	0.0
試 験 条 件	水 浸	突固め層数 層	3	最適含水比 w_{opt} %	12.5
養 生 条 件	日 空 気 中	モールド	内 径 mm	150.0	最大乾燥密度 ρ_{dmax} g/cm ³
	4 日 水 浸		高 さ mm	125	
供 試 体 No.		1	2	3	
吸 水 膨 張 量 試 験	前	含 水 比 w_1 %	12.2	12.0	11.7
		乾燥密度 ρ_d g/cm ³	1.85	1.82	1.83
	後	膨 張 比 re %	0.00	0.00	0.01
		平均含水比 w' %	15.1	15.0	14.5
		乾燥密度 $\rho'd$ g/cm ³	1.85	1.82	1.83
	試験後の含水比 w_2 %		13.2	14.7	15.4
貫 入 試 験	貫入量2.5mmにおけるCBR %		232.67	230.03	230.03
	貫入量5.0mmにおけるCBR %		288.43	229.67	256.38
	C B R %		288.43	230.03	256.38

平均CBR %
258.28



貫入量 mm	2.5	5.0
荷 重	供試体 No. 1	31.18 57.40
	供試体 No. 2	30.82 45.70
	供試体 No. 3	30.82 51.02
標準荷重強さ N/mm ²	6.9	10.3
標準荷重 kN	13.4	19.9

試験結果報告書

工 事 名 : 令和 7 年 度 社 内 管 理 試 験

試 験 内 容 : 三 軸 圧 縮 試 験 (C D)
試料名 ; 再生土砂 CO=100

試 験 年 月 日 : 令和 7 年 4 月

依 頼 者 : 西 海 砕 石 株 式 会 社

土質試験・原位置試験



マルタニ試験株式会社



本 社 福岡市中央区大手門 3 丁目 7 番 2 4 号
TEL092-761-0761

試験室 福岡県糟屋郡志免町別府西三丁目 8 番 1 0 号
TEL 092-935-1856 FAX 092-935-2025

土質試驗結果一覽表(材料)

調査件名 令和7年度 社内管理試験

整理年月日

令和 7年 4月 14日

整理担当者

眞二 訪談

試料番号 (深さ)		再生土砂 C0=100				
一般	湿潤密度 ρ_w Mg/m ³					
	乾燥密度 ρ_d Mg/m ³					
	土粒子の密度 ρ_s Mg/m ³					
	自然含水比 w_n %					
	間隙比 e					
	飽和度 S_r %					
粒度	石分 (75mm以上) %					
	礫分 ¹⁾ (2~75mm) %					
	砂分 ¹⁾ (0.075~2mm) %					
	シルト分 ¹⁾ (0.003~0.075mm) %					
	粘土分 ¹⁾ (0.005mm未満) %					
	最大粒径 mm					
	均等係数 U_r					
コンシステンシー特性	液性限界 w_L %					
	塑性限界 w_P %					
	塑性指数 I_P					
分類	地盤材料の 分類名					
	分類記号					
締固め	試験方法					
	最大乾燥密度 ρ_{dmax} Mg/m ³					
	最適含水比 w_{opt} %					
CBR	試験方法					
	膨張比 r_e %					
	貫入試験後含水比 w_2 %					
	平均 CBR %					
	%修正 CBR %					
コーン指数	突固め回数 回/層					
	コーン指数 q_c kN/m ²					
三軸圧縮	試験条件	CD				
	粘着力 c kN/m ²	90.6				
	内部摩擦角 ϕ 度	43.2				

特記事項

1) 石分を除いた75mm未満の土質材料に対する百分率で表す。

 $[1\text{kN/m}^2 \doteq 0.0102\text{kgf/cm}^2]$

JGS	0520	土の三軸試験の供試体作製・設置
-----	------	-----------------

調査件名 令和7年度 社内管理試験

試験年月日 令和 7年 4月 11日

試料番号 (深さ) 再生土砂 (C0=100)

試験者 諏訪 真二

供試体を用いる試験の基準番号と名称 JGS 0524 土の圧密排水 (CD) 三軸圧縮試験

試料の状態 ¹⁾	乱した	土粒子の密度 ρ_s ³⁾ Mg/m ³	2.67
供試体の作製 ²⁾	W_n , $\rho_{dmax} 95\%$	最小乾燥密度 ρ_{dmin} Mg/m ³	-
土質名称	砂質礫 (GS)	最大乾燥密度 ρ_{dmax} Mg/m ³	1.75

供試体 No.		1	2	3	
初期状態	直径 mm	50.0	50.0	50.0	
		50.0	50.0	50.0	
		50.0	50.0	50.0	
	平均直径 D_i mm	50.0	50.0	50.0	
	高さ mm	100.0	100.0	100.0	
		100.0	100.0	100.0	
		100.0	100.0	100.0	
	平均高さ H_i mm	100.0	100.0	100.0	
	体積 V_i mm ³	196.35×10^3	196.35×10^3	196.35×10^3	
	含水比 w_i %	13.0	13.0	13.0	
	質量 m_i g	368.1	369.0	368.5	
	湿潤密度 ρ_{ti} ³⁾ Mg/m ³	1.875	1.879	1.877	
	乾燥密度 ρ_{di} ³⁾ Mg/m ³	1.659	1.663	1.661	
	間隙比 e_i ³⁾	0.609	0.606	0.607	
	飽和度 S_{ri} ³⁾ %	57.0	57.3	57.2	
	相対密度 D_{ri} ³⁾ %	0.000	0.000	0.000	
設置・飽和過程	軸変位量の測定方法		外部変位計によって測定		
	設置時の軸変位量 mm				
	飽和過程の軸変位量 mm				
	軸変位量 ΔH_i ³⁾ mm				
	体積変化量の測定方法		計算による		
	設置時の体積変化量 mm ³				
	飽和過程の体積変化量 mm ³				
	体積変化量 ΔV_i ³⁾ mm ³				
圧密前 (試験前)	高さ H_0 mm	100.0	100.0	100.0	
	直径 D_0 mm	50.0	50.0	50.0	
	体積 V_0 mm ³	196.35×10^3	196.35×10^3	196.35×10^3	
	乾燥密度 ρ_{d0} ³⁾ Mg/m ³	1.659	1.663	1.661	
	間隙比 e_0 ³⁾	0.609	0.606	0.607	
	相対密度 D_{r0} ³⁾ %	0.000	0.000	0.000	
炉乾燥後	容器 No.				
	(炉乾燥供試体+容器) 質量 g				
	容器質量 g				
	炉乾燥質量 m_s g	325.8	326.5	326.1	

特記事項

- 1) 試料の採取方法, 試料の状態 (塊状, 凍結, ときほぐされた) 等を記載する。
- 2) トリミング法, 負圧法の種別, 凍結試料の場合は解凍方法等を記載する。
- 3) 必要に応じて記載する。
- 4) 必要に応じて粘性土の場合は液性限界, 塑性限界, 砂質土の場合は最小乾燥密度, 最大乾燥密度等を記載する。
- 5) 設置時の変化と飽和過程および B 値測定過程での変化を合わせる。

[1kN/m² ≒ 0.0102kgf/cm²]

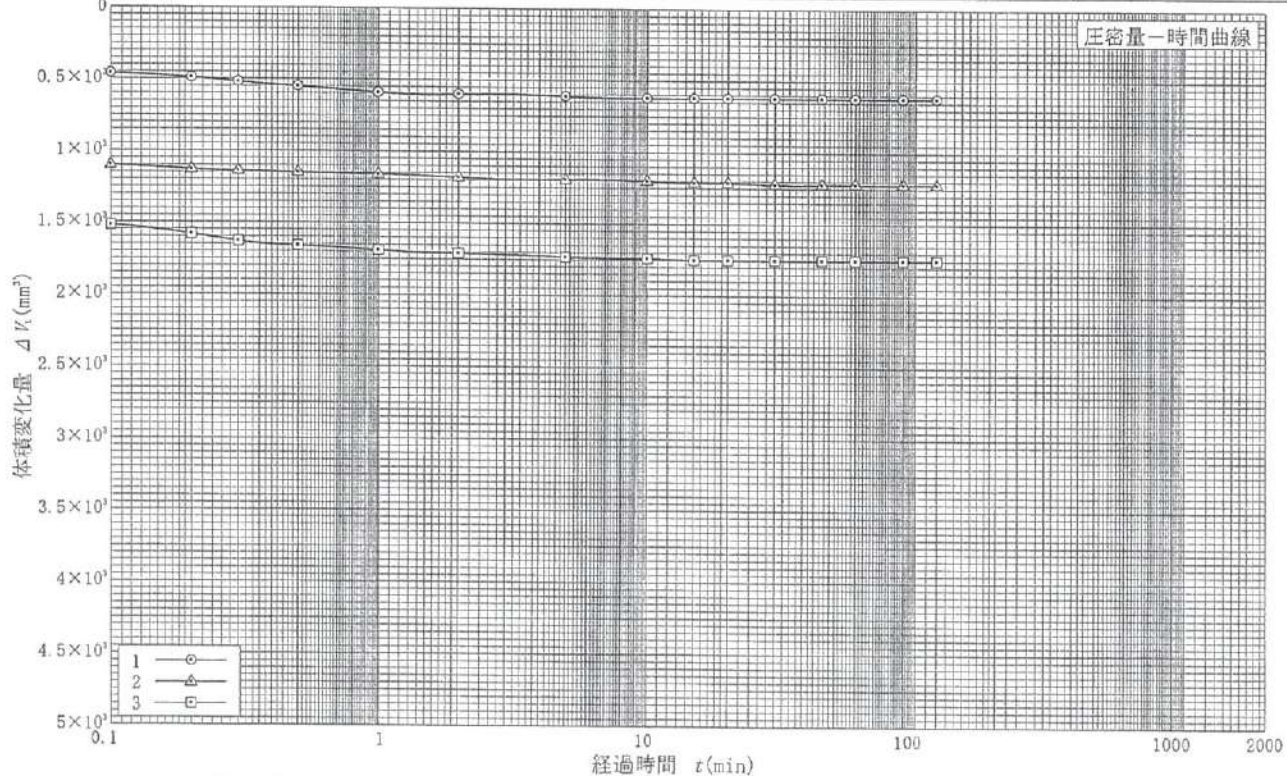
調査件名 令和7年度 社内管理試験

試験年月日 令和 7年 4月 11日

試料番号 (深さ) 再生土砂 (C0=100)

試験者 諏訪 真二

試料の状態 ¹⁾		乱した	最小乾燥密度 ρ_{dmin} Mg/m ³ ⁴⁾		
供試体の作製方法 ²⁾		Wn、 $\rho_{dmax}95\%$	最大乾燥密度 ρ_{dmax} Mg/m ³ ⁴⁾	1.75	
土質名称		砂質礫 (GS)	圧密中の排水方法		側方・両端面ペーパードレーン
土粒子の密度 ρ_s ³⁾ Mg/m ³		2.67			
供試体 No.		1	2	3	
試験条件	セル圧 σ_c kN/m ²	100.0	150.0	200.0	
	背圧 u_b kN/m ²	50.0	50.0	50.0	
	圧密応力 σ'_c kN/m ²	50.0	100.0	150.0	
圧密前	高さ H_0 mm	100.0	100.0	100.0	
	直径 D_0 mm	50.0	50.0	50.0	
	間隙比 e_0 ³⁾	0.609	0.606	0.607	
圧密後	圧密時間 t_c min	180	180	180	
	体積変化量 ΔV_c mm ³	0.62×10^3	1.22×10^3	1.75×10^3	
	軸変位量 ΔH_c mm	0.100	0.200	0.300	
	体積 V_c mm ³	195.73×10^3	195.13×10^3	194.60×10^3	
	高さ H_c mm	99.90	99.80	99.70	
	炉乾燥質量 m_s g	325.8	326.5	326.1	
	乾燥密度 ρ_{dc} Mg/m ³	1.665	1.673	1.676	
	間隙比 e_c ³⁾	0.604	0.596	0.593	
間隙圧係数 B	等方応力増加量 $\Delta \sigma$ kN/m ²				
	間隙水圧増加量 Δu kN/m ²				
	測定に要した時間 min				
B 値					



特記事項

1) 試料の採取方法、試料の状態 (塊状、凍結、ときほぐされた) 等を記載する。

2) トリミング法、負圧法の種別、凍結試料の場合は解凍方法等を記載する。

3) 必要に応じて記載する。

4) 必要に応じて粘性土の場合は液性限界、塑性限界、砂質土の場合は最小乾燥密度、最大乾燥密度等を記載する。

[1kN/m²≒0.0102kgf/cm²]

調査件名

令和7年度 社内管理試験

試験年月日

令和 7年 4月 11日

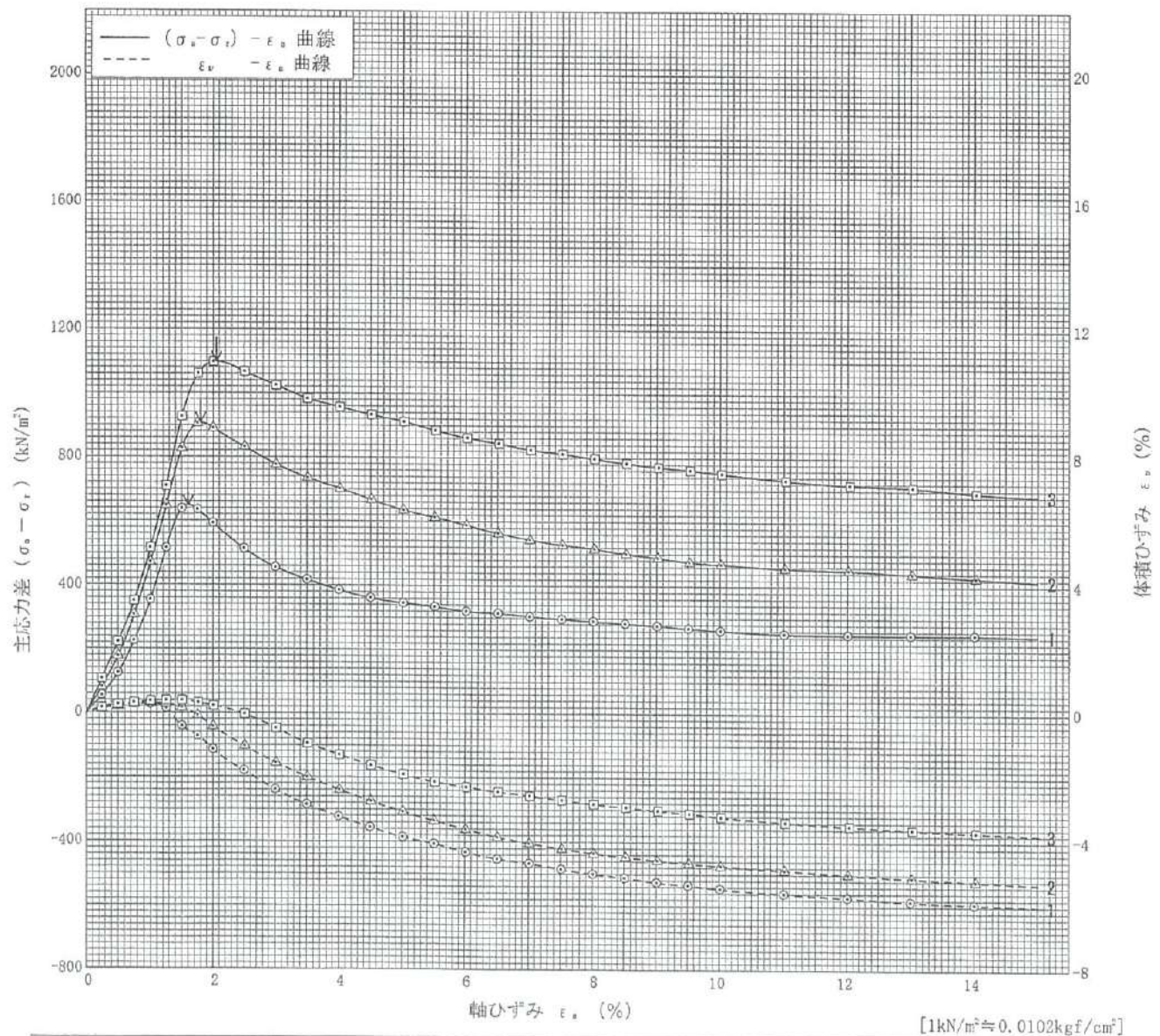
試料番号 (深さ)

再生土砂 (C0=100)

試験者

諏訪 真二

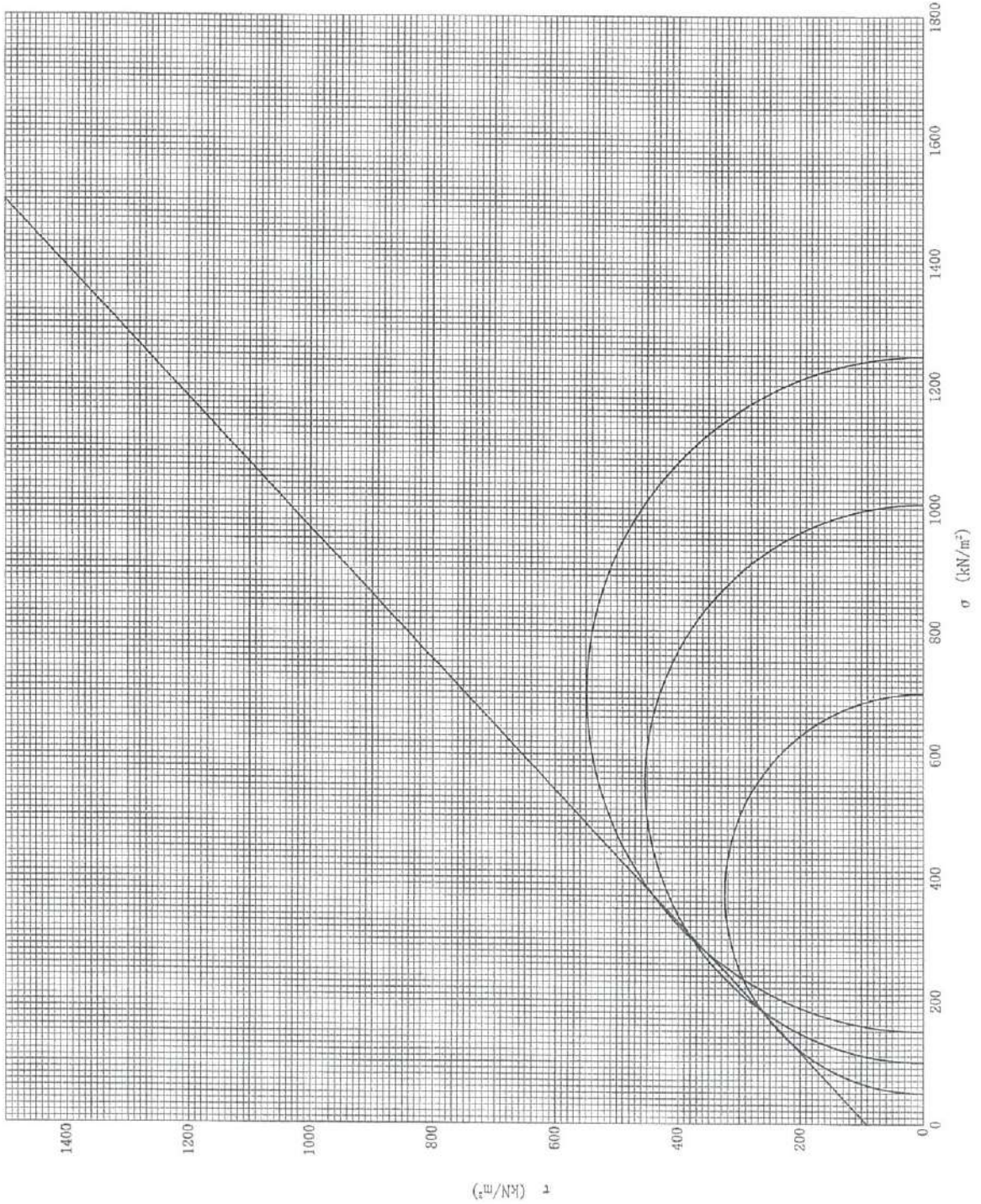
土質名称	砂質礫 (GS)	供試体 No.	1	2	3
最小乾燥密度 ρ_{dmin} Mg/m ³	-	モル登・圧密応力 kN/m ²	50.0	100.0	150.0
最大乾燥密度 ρ_{dmax} Mg/m ³	1.75	背 圧 u_b kN/m ²	50.0	50.0	50.0
ひずみ速度 %/min	0.5	圧縮強さ $(\sigma_a - \sigma_r)_{max}$ kN/m ²	649.04	907.13	1097.78
特記事項 1) 必要に応じて粘性土の場合は液性限界, 塑性限界, 砂質土の場合は最小乾燥密度, 最大乾燥密度等を記載する。	主 応 力 差 最 大 時	軸ひずみ ε_{af} %	1.60	1.80	2.06
		間隙水圧 u_t kN/m ²			
		CU 有効軸方向応力 σ'_{at} kN/m ²			
		有効側方向応力 σ'_{rt} kN/m ²			
		CD 体積ひずみ ε_{vt} %	-0.56	-0.15	0.20
		間 隙 比 e_t	0.613	0.598	0.590
供試体の破壊状況					



調査件名 令和7年度 社内管理試験 試験年月日 令和 7年 4月 11日

試料番号 (深さ) 再生土砂 (CO=100) 試験者 諏訪 真二

強度定数 応力範囲	全 応 力			有 効 応 力	
	c_d kN/m ²	ϕ_d °	$\tan \phi_d$	c' kN/m ²	ϕ' °
正 規 圧 密 領 域	90.6	43.2	0.940		
過 圧 密 領 域					



特記事項

検査結果書

発行番号 39
令和 07 年 05 月 08 日

西海碎石株式会社 様

計量証明事業所 長崎県知事登録第77号
公益社団法人長崎県食品衛生協会長
(環境科学試験所)



依頼者氏名	西海碎石株式会社		
試料名	固形物		
採取場所	再生土砂 (C0=100)、再生砂 (C0=100)		
採取者	三田 真一	水温	℃
採取日時	令和 07 年 04 月 01 日 14 時 00 分	受付年月日	令和07年04月02日

ご依頼のありました検査の結果は下記のとおりです。

項目	検査結果	検査方法
アルキル水銀化合物	検出されない(0.0005 mg/L未満)	環境庁告示第59号付表3
水銀又はその化合物	定量下限値未満(0.0005 mg/L未満)	環境庁告示第59号付表2
カドミウム又はその化合物	定量下限値未満(0.009 mg/L未満)	JIS K 0102 55.4
鉛又はその化合物	定量下限値未満(0.01 mg/L未満)	JIS K 0102 54.4
六価クロム化合物	定量下限値未満(0.05 mg/L未満)	JIS K 0102 65.2.5
砒素又はその化合物	定量下限値未満(0.01 mg/L未満)	JIS K 0102 61.4
セレン又はその化合物	定量下限値未満(0.01 mg/L未満)	JIS K 0102 67.4
	以下余白	

備考

上記結果は溶出試験値。溶出は昭和48年環境庁告示第13号による。

公益社団法人長崎県食品衛生協会 環境科学試験所 〒851-2129 長崎県西彼杵郡長与町斉藤郷1006-10

お問い合わせ番号 TEL 095-814-5757 FAX 095-814-5788